

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院小児科に、早産でお生まれになり通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院小児科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

成育限界週数で出生し積極的治療を受けた児の予後に影響する周産期因子の検討

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院小児科 医長 長坂 美和子

3. 研究の目的

早産児の救命率はあがり、元気に退院される方も多くなってきました。在胎 22～24 週という特に早い週数でお生まれのお子さんの救命率も上がってきましたが、その未熟性の強さから重篤な合併症や後遺症が起りやすいため、さらなる予後の改善が期待されています。そこで、今回の研究は、在胎 22～24 週のお子さんの予後に関連する周産期の因子を明らかにすることを目的としています。この研究で得られたデータは、在胎 22～24 週という予後の改善につながる可能性があります。またご家族への正確な情報提供や適切な治療方針の決定にも役立つ可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2010年1月1日から2019年3月31日までの期間中に、在胎 22～24 週で出生され、当院新生児集中治療室に入院された方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、在胎週数、出生体重などお生まれになったときの赤ちゃん、お母さんの情報、発達検査結果(修正1歳半、暦3歳、暦6歳、暦9歳)などに関する情報です。

(3) 方法 当院で電子カルテより情報を収集し、解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院小児科 担当医師 片山 義規

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : katayama@ajk.takatsuki-hp.or.jp